

原発の町で、市民がつくった太陽光発電所のお話です。(NPO法人おながわ・市民共同発電所)



宮城県女川町には東北電力の女川原発があります。3・11福島第一原発事故は多くの町民に原発の安全神話が終わったことを教えてくれました。一方、巨大な津波が人口わずか1万人の町に襲い掛かり、827人もの尊い犠牲と、3分の2の家を根こそぎ奪いました。

この町で立ち上がった町民の物語です。



生みの親は、仙台の「きらきら発電」さん



すべてはここから始まった。
プロジェクト・ウサミさんは常に傍について、励ましてくれました。

2016年4月、仙台の広幡夫妻から「脱原発の活動として、女川町に太陽光発電をつくりたい。土地を紹介してほしい」と、話を持ち掛けられました。

私は大いに刺激を受けました。そして広幡さんに「私たちに太陽光発電所をつくらせてくれませんか」「ぜひきらきら発電所の施設を見学させてください」と、お願いしました。

この間、広幡さんの自宅に伺い、NPO法人設立と資金の調達について、私たち夫婦で学ぶことが出来ました。

2016年10月、井戸浜太陽光発電所等見学。
木村征郎町議、阿部律子町議、私達夫婦が参加。

2016年12月、ついにあの震災から5年後、
NPO法人おながわ・市民共同発電所設立総会を開催しました。

5人衆の協力があって



右から高橋正典理事(商工会会長)、4人目松木卓理事長、5人目梶原三雄理事、6人目木村征郎理事(町議会議長)、そして隣が高野博です。

＜松木卓さん＞

ライオンズクラブ時代からのお付き合い。ドラックストアを経営しながら、石巻の裁判所の調停員を20年間務めた立派な方です。

＜木村征郎さん＞

震災当時の議会で、議長として大奮闘され、とにかく私の相談相手になってくださった方です。

＜高橋正典さん＞

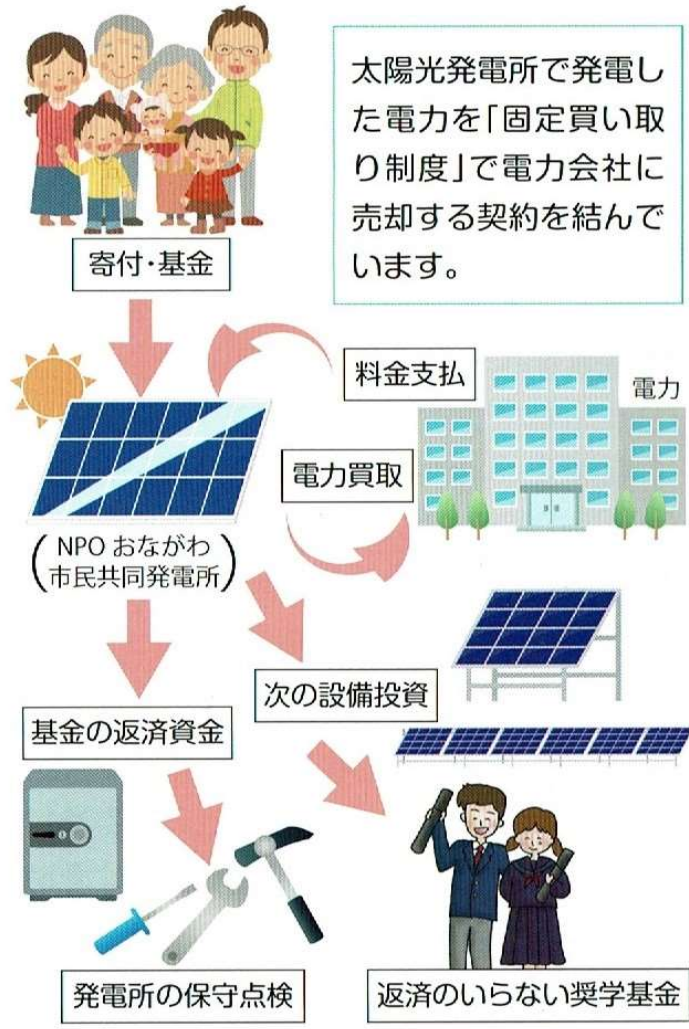
立場としては原発推進の役割を担われますが、「高野さんの生涯を貫く仕事(ライフワーク)だから、協力しましょう」と、心の広い方です。

＜梶原三雄さん＞

気骨の人で、NPO法人ビホロを立ち上げ、「高齢者に雇用を」と女川町で頑張ってきた人です。

私達の三つの特徴

おながわ・市民共同発電所のしくみ



- 1, 原発に賛成の人も反対の人も、再生可能エネルギーに取り組みましょう。
 - 2, 収益金の一部を、返済のいらぬ奨学金「おひさま奨学金」として、町内出身の大学生や専門学生に支給しましょう。
 - 3, 10年間無利子の資金協力と寄付金、会費で、太陽光発電所を建設し、運営しましょう。
- 女川町民の団結を最優先し、地域に還元できる事業を展開すること。
- この背景には、原発を巡って40年以上の運動があり、福島に事故を目の当たりにして、原発の安全神話が大きく崩れる中、多くの町民・市民には、いまこそ、自然エネルギーに未来を託そうとの思いがありました。

地獄に仏とはこのこと



大六天発電所(NPO法人 おながわ・市民共同発電所) 開設日:平成30年2月6日 社団法人女川町高白浜字向山
全量買取制度利用・280wパネル264枚 73.92kwシステム

販売施工
株式会社プロジェクトウサミ

2017年4月、当初計画の出島の町有地の借用が住民の同意が得られず、暗礁に乗り上げた時のことです。
(その後、出島太陽光発電所計画は断念しました)

ミャンマーにいた高橋正典さんが、「大六天の私の土地を使ってもいいよ。帰ったら案内するから」と国際電話で提案してくれました。

本当に地獄に仏とはこのことだと痛感しました。

また、20年間無償でお借りすることもできました。

市民の力に依拠して

法人の正会員になってください 入会金1万円 年会費なし

NPO法人は町民が活動するための法人です。おながわ・市民共同発電所は入会金1万円で、正会員になれます。

正会員になっていただければ一番良いのですが、ご都合で、正会員や賛助会員にならない方もおられると思います。そんな方でも市民共同発電所への協力は可能です。寄付金や基金提供という形でご参加ください。

① 寄付金をお願い致します

町民の方々が一人数でも多く、太陽光発電所の設置に参加していただけるよう、1,000円とか2,000円でも、1万円でも結構です。寄付をお願いします。勿論上限も下限もありません。お気持ちを形にして頂ければ幸いです。

② 基金を募っています

現在、予定している50kWの太陽光発電所。約336枚のパネルが並びます。太陽光発電所の設置費用は約1,800万円程度と考えています。一口2万円から何口でも構いません。基金として10年間お預かりします。10年後お返しいたします。ただし、利子や配当はつきません。心からご協力をお願いします。

ご協力できる方は、左記のはがきに必要なお住所を記入し、切り抜いて、切手を貼って、投函してください。
【銀行振り込み先】
石巻信用金庫 女川支店 店番005
口座番号 2016085 口座名義 松木 卓

NPO法人おながわ・市民共同発電所 (準備会)

ご案内



自然エネルギーは 未来への贈り物

私たちと一緒に、町民・市民参加型の自然エネルギー発電に取り組みませんか。利益はすべて社会貢献に使います。

- ① みんなで太陽光発電所を作りましょう
- ② 自然エネルギーを学び普及しましょう
- ③ 返済のいらない奨学金制度の原資に
- ④ 出資者と地域住民の交流会も
- ⑤ 地域で「お茶飲み会」を開きましょう

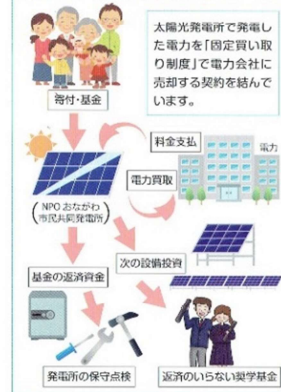
連絡先 理事長 松木 卓
(元マツキドラッグ店主・元調停委員)
事務所 女川町女川浜字大原204番地
UN-3街区6画地
電話もFAXも 0225(53)3614

ごあいさつ

このたび、未来の子ども達に、美しい自然環境を継承し、新しい豊かなまちづくりに寄与することを目標に、住民有志の発意により、自然エネルギーを活用した特定非営利活動法人(NPO)おながわ・市民共同発電所を設立する運びとなりました。ご協力のほどよろしくお願い致します。
理事長 松木 卓

NPO法人 役員の名簿
理事長 松木 卓
理事 梶原 三雄
理事 高橋 正典
理事 木村 征郎
理事 高野 博
監事 阿部 美紀子
監事 和泉 進一

おながわ・市民共同発電所のしくみ



発電所1号は、コバルトライン 大六天展望台付近に予定

牡鹿半島と太平洋を一望できるコバルトラインの大六天展望台。このたび、その真下の土地をお借りすることができました。

300枚程の太陽光発電パネルを設置し、50kWの市民共同発電所を実現します。

私たちは、町民の力、全国の有志の方の力をお借りして、太陽光発電所を作り、地球温暖化防止に少しでも貢献し、子どもたちに、自然からの贈り物を残したいと決意しました。ぜひご協力下さるようお願い致します。



みんなで協力し合って 子どもたちに贈り物を

NPO法人は会員の利益のためではなく、社会に還元することを目的に活動する法人です。

会員・寄付・基金の申込書

お名前	
ご住所	
電話番号	
Eメール	
区分	会員 賛助会員 非会員
寄付額	
基金額	
受取代理人氏名	
受取代理人住所	
受取代理人電話番号	

賛助会員は、寄付や基金の協力者でニュースなどをお届けします。議決権はありませんが、積極的にご意見を伺います。

この三つ折りのチラシも、「きらきら市民共同発電所」さんのチラシをそっくり拝借して、会員、寄付、基金の募集を行いました。

10年間無利子でお借りすることにしました。広幡さんから「10年後の受取人について、代理人を記入していただいた方がいいのでは」とアドバイスもいただきました。投資機関や金融機関からのお金を使わず、市民の手でつくり上げようと必死でした。

NPO法人設立記念講演会 飯田哲也さんを迎えて

NPO法人おながわ・市民共同発電所設立記念講演会

多くの皆様のご参加をお願いします

自然エネルギーが地域を変える

環境エネルギー政策研究所

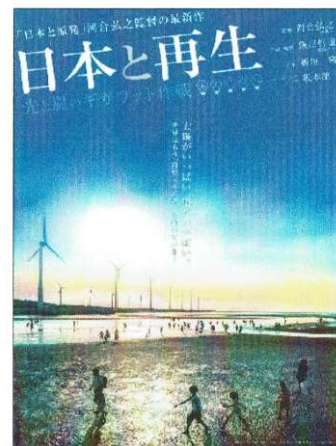
飯田哲也さん



おかげさまで、私たち NPO法人おながわ・市民共同発電所に対し、宮城県から正式にNPO法人の認証が出ました。みんなで力を合わせ、太陽光発電を女川につくり、子ども達に環境にやさしい、自然エネルギーを残していきたいと思えます。設立記念講演として、日本の再生可能エネルギーの第一人者、飯田哲也氏をお招きし、お話を伺います。ぜひ多くの方々のご参加をお願いします。

5月21日（日）13時～16時まで
女川町まちなか交流館大ホール
午前10時～映画「日本と再生」上映

NPO法人おながわ・市民共同発電所 理事長 松木卓 事務局0225-53-3614
宮城県女川町女川浜字大原204番地UN-3街区6画地 連絡先 高野博



講演に先立ち、午前10時～映画「日本と再生」を上映します。この映画は、世界7か国を実際に回り、再生可能エネルギーキュメントです。まさに世界はすみませんが、映

2017年4月宮城県から正式にNPO法人の認可が下りました。

2017年5月21日

記念講演を飯田哲也さんをお願いし、また映画「日本と再生」を上映することが出来ました。



プロジェクト・ウサミのすご技



大六天太陽光発電所の概要
パネルは264枚。総出力73.9kWの過積載。
49.5kWで東北電力に。

大六天太陽光発電所の敷地は北向きの斜面でした。しかも二段の敷地です。

ここに264枚のパネルをはるために、大きな台を2つつくり、そこに貼り付けます。しかも南向きに傾斜をつけて。

一方西風が強く、飛ばされないようにワイヤーで固定しました。本当にすごい技です。

2017年12月着工という厳しい条件で、工事が始まりました。

マスコミも注目して(2)

太陽光発電で奨学金

女川のNPO 大学生向け構想

太陽光発電で町の人口流出を食い止めたい。女川町のNPO法人「おながわ・市民共同発電所」が10年がかりの思の長い計画に取り組み。売電益を大学生向けの給付型奨学金の原資にし、町に人を呼び込もうという構想だ。今秋の発電開始をめざしている。

NPOは町民ら71人からなり、牡鹿半島にある「大六天展覧台」近くの約1千平方メートルの借地に、300枚ほどの発電パネルを設置する方針。電力は50キロワット



震災の津波で大きな被害を受けた女川町は震災前より人口が4割近く減った。昨年設立したNPOの理事長に就いた松木卓三(78)は、津波で自営の薬局を流された。「土地の買い上げ費を将来の子どものために残せるものがあればいい」と語っていた。

三陸復興国立公園内にあるため、環境省の認可が取れ次第、建設に取りかかる。東北電力に売電し、固定資産税や保守点検などの経費を除くと10年間で1千万円の利益が出る試算。それを奨学金の原資に充て、軌道に乗れば規模を拡大していく計画だ。

記者会見し、「規模は小さいが未来の子どもたちのために力を合わせたい」と話す松木卓三(中央)＝8日、石巻市

山の贈り物

ささタン

骨かまどと牛タンのおいしい出会い

明石創業の自信満々

松澤

松澤蒲鉾店
松澤蒲鉾店
TEL.022-236-6433

ハビオ名物店
TEL.022-222-5723

町内には東北電力女川原発があり、NPOのメンバーには原発反対の共産党市議も入っているが、松木さんは「原発賛成反対にかかわらず、町の将来のために力を合わせていこう」という人たちが集まったと言

石巻記者クラブで記者会見に臨み、NPO法人おながわ・市民共同発電所の取り組みをはじめて紹介し、記事にさせていただきました。

エネ事業を子どもたちのために

女川町有志NPOを設立 太陽光発電施設を整備

自然エネルギーを活用した事業を子どもたちのための活動につなげようと、発電所の設置・運営を目指す女川町の住民有志がNPO法人おながわ市民共同発電所(松木卓理代表)を立ち上げた。今後、町内に太陽光発電施設を整備し、売電で得た収益を返済不要の奨学金などに使う。8日に石巻市役所内記者会見を開いた松木理事長は「原発立地自治体だからこそ、エネルギーを活用した取り組みで子どもたちに残せるものがあればいい」と語っていた。



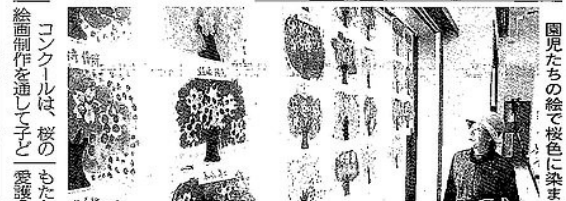
活動の趣旨などについて説明する松木理事長(中央)ら

NPO法人おながわのメンバーは、町議や企業の代表など計53人。それぞれに女川町原発の再稼働について意見を有するが、環境魚何のない自然エネルギー発電による地域貢献を目標とする。昨年12月に設立に向けた総会を開いた後に申請手続きを進め、4月18日付で認証された。発電所整備に向け、東北電力から発電

電量50キロワット未満対象の買取り許可を得て、発電した電気を同社に送る。接続許可も受けている。第1号となる発電所は、女川町高白浜にあるカールライン大六天展覧台付近の会員所(有地約300平方メートル)に設置する予定で、現在測量調査を進めている。建設費用は委員の出資に加え、基金や寄付により約2千万円を集める計画。現在

まで約1600万円を確保したという。今後環境省との調整に入り、早ければ7月に着工の手配。約300枚の太陽光パネルを取り付けるなど、原資となる収益を出せるようになる。減少対策にもつながるのでは。なお地域活性化に期待を込めて、エネルギーが浸透している。

石巻信金 向陽支店
みんなで見たねきれいな桜
お花見の思い出表現



園児たちの絵で桜色に染ま

水産振興センター入居者募集

石巻市は31日まで、市水産総合振興センター11号市魚町1の貸し事務所と倉庫、売店を募集している。テナントの入居を募集している。同センターは石巻市場利用者や周辺の水産加工業者などが研修や研究を行う共同の水産振興拠点施設。今

すすきだ音楽隊 釜小で支援

堀内哲人(1)は「琴の演奏は初めて助

言だった。友だちと一緒に踊って楽しかった。

人ま 録を

二度目の資金協力の訴え

NPO 役員の名簿
 理事長 松木 卓
 理事 高橋正典
 理事 梶原三雄
 理事 木村征郎
 理事 高野 博
 監事 阿部美紀子

ごあいさつ

平成28年12月、自然エネルギーを活用したNPO法人おながわ・市民共同発電所を設立しました。町内外の多くの市民のご協力で、平成30年2月、1号機の大六天太陽光発電所を完成させました。夢のように本当にありがとうございました。引き続き2号機建設に着手します。ご協力の程よろしくお願ひします。 理事長 松木 卓

みんなで協力し合っ 子どもたちに贈り物を

NPO法人は会員の利益のためではなく、社会に還元することを目的に活動する法人です。

法人の正会員になってください 入会金1万円 年会費なし

NPO法人おながわ・市民共同発電所は町民が活動するための法人です。入会金1万円、法人の正会員になれます。

震災復興のシンボル 復興支援のシンボル

2号機の基金を募っています

1号機の太陽光発電所に続き、2号機の建設に取り組みます。パワコン50kWの太陽光発電所です。設置費用は約2000万円程度です。一口2万円から基金を募っています。何口でも構いません。基金として10年間お預かりし、10年後にお返しします。ただし利子や配当はつきません。ご協力をお願いします。

寄付金をお願い致します

町民の方々一人でも多く、太陽光発電所の設置に参加していただけるよう、寄付をお願いしています。1000円、2000円でも結構です。勿論上限も下限もありません。お気持ちを形にして頂ければ幸いです。

左記のはがきを切り取って必要な事項を記入し、切手を貼って投函してください。
 送金は NPO法人おながわ・市民共同発電所
 郵便振替口座 02280-7-141681
 郵貯以外から振り込む場合
 ゆうちょ銀行 店名 229 口座 0141681

NPO法人おながわ・市民共同発電所

ご案内 大六天発電所



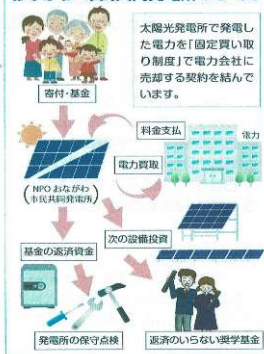
自然エネルギーは 未来への贈り物

私たちと一緒に、町民・市民参加型の自然エネルギー発電に取り組みませんか。利益はすべて社会貢献に使います。

- ① みんなで太陽光発電所を作りましょう。
- ② 自然エネルギーを学び普及しましょう。
- ③ 返済のいらない奨学金制度の原資に。
- ④ 出資者と地域住民の交流会も。
- ⑤ 地域で「お茶飲み会」を開きましょう。

連絡先 理事長 松木 卓
 (元マツキドラッグ店主・元調停委員)
 事務所 女川町女川浜字大原204番地
 UN-3街区6画地 高野方
 電話もFAXも 0225 (53) 3614

おながわ・市民共同発電所のしくみ



発電所1号、大六天展望台に完成

社鹿半島と太平洋を一望できるコバルトライン大六天展望台。その真下で平成30年2月6日、50kWの太陽光発電所が発電を開始しました。ご協力ありがとうございました。



2号機の用地、無償提供を受けました

奨学金に充てる目的などに賛同し、企業組合ビホロさまより用地の協力がありました。華夕美の向い、国道沿いです。頑張ります。

会員・寄付・基金の申込書

お名前	
ご住所	
電話・FAX	
Eメール	
区分	会員 賛助会員 非会員
入会金	
寄付額	
基金額	
受取代理人 氏名	
受取代理人 住所	
受取代理人 電話番号	

賛助会員は、議決権はありませんが、ニュースなどをお届けします。

必
切
手

986-2261

女川町女川浜字大原204番地
UN3街区6画地
NPO法人
おながわ・市民共同発電所
事務局 行き

2018年。この年は勝負の年になりました。ビホロさんから2基目の土地のご協力が得られて、何が何でも二つ目の太陽光発電所を建設しようとなったのです。しかし、5月の末でまだ600万円しかめどが立ちません。理事会で議論し、参加していたウサミさんが、「きらきら発電所」に実情を訴えられたようです。その結果、「きらきら発電所」の会員の一人が、「それでは1000万円を基金として協力します」との申し出が7月にあり、たまたまや緊急事態をしのぐことが出来ました。8月には地鎮祭を行うことが出来ました。

(株)ビホロさん 新たな土地の提供

大六天太陽光発電所が2018年2月から通電を開始すると、(株)ビホロの梶原三雄社長から、浦宿地区の社有地を無償貸し付けをするとの申し入れがありました。本当に感謝に耐えません。



上の写真は2018年8月の地鎮祭
万石浦太陽光発電所と命名しました。
2018年10月6日に完成・通電開始。
概要はパネル336枚発電容量90.7
kW。FITで49.5kWで連結。

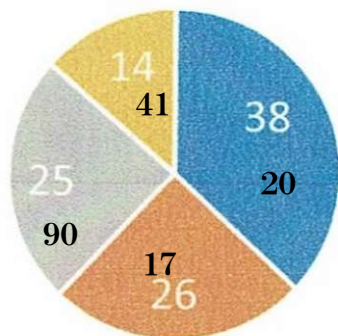


NPO法人おながわ・市民共同発電所

会員、基金、寄附金の構成は

会員（103人）

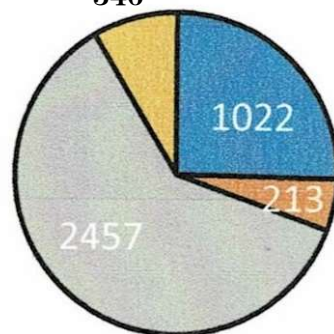
賛助会員168人



女川町 ■ 石巻市 ■ 県内 ■ 県外

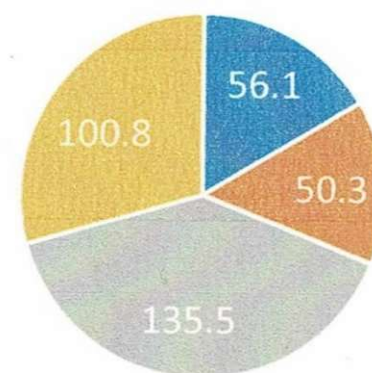
基金借入（4038万円）

346



■ 女川町 ■ 石巻市 ■ 県内 ■ 県外

寄付金（342.7万円）



■ 女川町 ■ 石巻市 ■ 県内 ■ 県外

手探りの仕事でした。上のグラフは2022年当時集計したものです。

会員は生涯1万円の入会金で総会に出席し議決権を持っています。合計103名でした。基金の出資は女川1022万円、石巻213万円、宮城県内2457万円 県外346万円合計4038万円になりました。（2022年に50万円未満の基金協力者72名に繰り上げて496万円を返済しました。その中で、122万円の寄付が寄せられました。）

寄附金は 女川56.1万円、石巻50.3万円、県内135.5万円、県外100.8万円でした。どうしてこんなに集まったのか、それはやっぱり、原発に依存しない社会を願ってのことと思います。首都圏の女川出身の方も、友人に声をかけ広く呼び掛けて下さいました。

2020年1月から「おひさま奨学金」始める

おひさま奨学金 発足しました

今年度16名に奨学金を給付しました

NPO法人おながわ・市民共同発電所（理事長・松木卓）は、地球温暖化対策を防止し、持続可能な社会の実現と子どもたちの教育環境の向上に寄与したいという思いから、太陽光発電事業を行い、この事業によって得た収益を、女川の子どもの就学に還元しています。2019年度（令和元年度）から返済のいらぬ給付型の「おひさま奨学金」をはじめました。来年度も奨学金を給付します。

- ◆ 対象者 女川町が実施している奨学金を受けている方（書類等による選考はありません）
- ◆ 給付額 一律 20,000円（年額）
入金は通帳で確認ください
- ◆ 申込方法 下記問い合わせ先にご連絡下さい
- ◆ NPO法人おながわ・市民共同発電所・事務局
☎ 0225-53-3614（高野 博）



松木理事長、木村征郎理事が仙台で奨学金の支給を始めること、経過と決意を披露しました。

NPO法人を立ち上げた時から、女川の子どもたちに給付型奨学金を支給しようと決め、役員をはじめ皆様のご協力で、この度「おひさま奨学金」を発足させることが出来ました。1月7日に申し込みのあった16名に送金しました。毎年、引き続き実施していきます。これからもご協力よろしくお願いします。
理事長 松木 卓

- ①2019年度 16名
 - ②2020年度 16名
 - ③2021年度 19名
 - ④2022年度 20名
 - ⑤2023年度 19名予定
- 小計 90名に


2019年11月に木村征郎、高野博両氏が町議会議員を引退し、給付型奨学金支給をしても、公選法違反に問われない身分になって、早速実現しました。

地元や中央のマスコミが報道して(3)

石巻かほく 2020年(令和2年)1月24日(金曜日)

NPO法人おながわ・市民共同発電所

NPO法人おながわ・市民共同発電所は、返済不要の給付型奨学金「おひさま奨学金」の支給を始めた。2カ所の太陽光発電事業で得た収益を一律2万円、未来を担う女川町出身の子どもたち16人に23日までに送金した。松木卓理理事長(81)は「設立当初の目的が達成できて、うれしく思う。今後も頑張っていきたい」と話している。



16人に奨学金支給開始

太陽光活用 事業収益金 大学生らに一律2万円

16人の内訳は、県内各都府県などで学ぶ大学生14人、専門学校生2人、町教委の奨学金制度を活用している大学生、専門学校生から申し込みにあつた全員に送金した。

NPO法人は、女川町オンスワンの会長や副会長を務めるなど長年にわたり社会貢献活動に尽力してきた松木理事長と、元町議の高野博さん、木村征郎さんの「持続可能なエネルギー」の夢と、子どもたちの教育環境の向上に貢献したいとの思いが一致し、2016年12月に発足した。

大六天太陽光発電所で、奨学金開始を記念して、松木卓理理事長(左)と高野博さん(右)が記念撮影している。

活動の趣旨に賛同した高野博さん(左)と松木卓理理事長(右)が、企業組合「ヒホロ」が年間、20年間間借りし、それぞれ無償土地を確保。18年2月に大六天(高野博)・同年11月に万石浦浦田で太陽光発電所を開所した。

事業収益金は松木理事長の500万円をはじめとする出資のほか、寄付などで4000万円を確保。発電事業収益は「固定費取り」制度で電力会社に売電し、出資金の返済や備付点検などの経費を除いた中から奨学金を充てた。

高野理事長は「子どもたちが元気に育つために原資確保、反対に関わり、一緒に頑張ってほしい」という仲間意識が、この活動の原動力になっている。

NPO法人には、奨学金を受け取った本人からお礼の電話やメールが届き、松木理事長、高野理事長は喜んでいる。

松木理事長は、今後20年間、奨学金を続けていきたいと話している。

2020年(令和2年)2月18日(火曜日) 言 宣 業 斤

太陽光売電で奨学金

年間2万円、返済なし

女川のNPO 町出身大学生らに

女川町のNPO法人「おながわ・市民共同発電所」が、太陽光発電の売電収入を原資にした奨学金の給付を始めた。町出身の大学生や専門学校生を対象に1人年間2万円、返済は不要。理事長の松木卓さん(81)は「学生たちが町の将来の担い手になるよう支援したい」と話している。

「おひさま奨学金」と名付けられた。町の奨学金の貸付を受ける大学生や専門学校生16人に1月、2万円ずつ送った。同法人は20年間わたって奨学金の給付を続ける考えだ。

松木さんは町中心部で2001年まで薬局を経営していた。東日本大震災の津波で店舗兼住宅が流された。町による土地の買い上げで得た資金の使い道を考えていた際、同法人理事で当時町議だった高野博さん(70)が再生可能エネルギー発電の導入を検討していたのを知り、意気投合した。ほかの仲間も加わり、売電収入をもとに子どもたちの奨学金制度を作ろうと16年12月、NPOを設立した。

町内外の有志から出資や寄付を募り、これまでに約4000万円が集まった。町内の企業などから土地2カ所を無償で借り受け、太陽光発電装置を設置(出力計164.6キロワット)。さらにもう1カ所で増設することを検討している。

やっと奨学金の支給が実現できました。

総会を大切にし、コロナ過でも実施 見学会も数多く開催。草刈りも楽しかった



総会を成功させ、奨学金の支給に全力を投球してきました。この3年、コロナ禍の下でも、100名に及ぶ会員の皆さんには委任状を含めご協力いただきました。見学者も数多くお出でになり、クリーンなエネルギーが市民の手で実現していることを、実感していただいています。草刈りも楽しかった思い出です。

燃料費0、年間発電量16万kwh 年間販売電力は約400万円です

2019年度 年間発電実績報告

大六天電所		万石浦発電所	
検針日		検針日	
5/7	10,010kwh	4/19	8,966wh
6/4	9,888	5/23	12,140
7/3	6,815	6/21	10,303
8/2	6,205	7/23	8,078
9/3	7,147	8/23	9,821
10/3	6,730	9/21	7,791
11/5	3,953	10/24	7,608
12/3	3,214	11/22	6,460
1/6	4,240	12/20	4,975
2/3	3,489	1/23	6,206
3/3	4,340	2/20	5,753
4/3	6,834	3/23	7,338
72,865+95,439=168,304 (kwh)			
年間売電収入4,078,628円でした			

2020年度 年間発電実績報告

第六天発電所		万石浦発電所	
検針日		検針日	
5/7	10,031 kwh	4/22	9,114 kwh
6/4	7,825	5/22	9,848
7/3	7,604	6/23	11,719
8/3	5,312	7/22	6,415
9/2	7,437	8/24	10,259
10/5	5,109	9/23	8,366
11/2	4,341	10/22	5,232
12/2	4,500	11/20	7,007
1/5	2,680	12/21	5,057
2/2	3,012	1/21	5,749
3/3	5,755	2/18	6,554
4/2	7,894	3/22	9,138
71,500 + 89,258=160,758 (kwh)			
年間売電収入 406万9,039円でした。			

2021年度 年間発電実績報告

大六天電所		万石浦発電所	
検針日		検針日	
4月	8,841kw h	4月	9,785kw h
5月	9,056	5月	10,161
6月	7,965	6月	9,099
7月	6,397	7月	8,660
8月	6,212	8月	8,208
9月	6,250	9月	7,966
10月	4,519	10月	6,042
11月	4,151	11月	6,384
12月	2,645	12月	4,492
1月	4,057	1月	6,389
2月	4,226	2月	6,511
3月	6,761	3月	8,294
71,083		92,800	
71,083+92800=163,883 (kwh)			
年間売電収入4,083,999円でした			

2022年度は若干発電量も販売額も落ち込みましたが、2019年度から3年間の実績は、年間16万kwh、年間400万円の販売実績でした。すごいことだと思います。

これが20年間確保されることを願って、メンテなどに励みたいと思っています。

しかし、最近保険料が大幅に上がり、年間40万円以上です。つまり販売額の1割を超えるのです。さらに出力制限も数回行われれば、太陽光発電所の運営に大きな障害になるのではないのでしょうか。せっかく燃料費0の自然エネルギーの優位性が生かされなく恐れがあります。

みやぎ地域・市民電力連絡会を結成して



みやぎ地域・市民電力連絡会
地域の自然エネルギーで地域を豊かに！



宮城県で活動している ①ひらぽ電気株式会社、②きらきら発電 市民発電所 ③おながわ 市民共同発電所 ④みやぎ地域エネルギー合同会社の4つが連絡会をつくり、毎年例会を開き、講演会を開催し、それぞれの地域での活動交流を行ってきました。

これからの課題として

みんな電力との連携

奨学金の活動に、応援金が寄せられて



他業種との連携

FITから自家消費型、オンサイトPPA、オンサイトPPAなど学んで、水産加工や農漁業との連携を検討したい。

出力制限に対応を



NPO法人おながわ・市民共同発電所でも昨年度は4月30日、5月8日、今年も5月7日に出力制限を受けました。女川原発2号機が稼働すればどうなるのでしょうか。待ったなしで、みやぎ地域・市民電力連絡会で相談したいと思っています。

若返りに

役員の高齢化が進み、草刈りもままならぬ事態に。なにより若者の皆さんに会の運営をお願いできるよう、新たな企画を考えましょう。